

科目名	科目コード	教員名	教員コード	対象	開講	単位数	必・選	履・学
政治・経済	L101	八田茂樹 永野拓也	L12 L17	1	通年	2単位	必修	履修
使用教科書	香川勝俊編「教養の政治学・経済学」学術図書出版							
参考書	大島 清・大島康正編「政経倫理辞典」数研出版 政治・経済教育研究会編「政治・経済用語集」山川出版社							
授業の概要	<p>I. 政治； 次の各項目に関わる基礎的内容を解説する。 1. 民主主義の構造 2. 日本国憲法 3. 日本の統治機構 4. 日本の政治状況と課題 5. 現代社会と人権 6. 国際社会と日本</p> <p>II. 経済； 次の各項目に関わる基礎的内容を解説する。 1. 市場経済と価格機構 2. 国民経済の構造 3. 国際経済</p> <p>III. 論述課題 上記I～IIについてテーマを与え、小論文・作文などを作成させる。</p>							
授業の目標	<p>I. 政治～II. 経済 上記「授業の概要」の各項目を説明するために必要な語句の意味として、正しいものを判別できる。</p> <p>III. 論述課題 与えられたテーマについて、偏見なく、他人に伝わるように、理由を示しながら論じられる。</p>							
授業項目	時間配分	達成目標（修得すべき内容）				評価方法		
I. 政治		下の1～6の事柄について説明するために必要な語句の意味として、正しいものを判別できる。				定期筆記試験で評価する。		
1. 民主主義の構造	5	民主政治の基本原則について理解し説明できる。						
2. 日本国憲法	10	日本国憲法の制定過程と日本国憲法の基本原則について理解し説明できる。						
3. 日本の統治機構	15	国会、内閣、裁判所のそれぞれの役割について理解し説明できる。						
4. 日本の政治状況と課題	5	政党政治と選挙について理解し説明できる。						
5. 現代社会と人権	2	新しい人権や情報化社会と人権について理解し説明できる。						
6. 国際社会と日本	8	国際連合と冷戦終結後の国際社会について理解し説明できる。						
II. 経済		下の1～3の事柄について説明するために必要な語句の意味として、正しいものを判別できる。				作文あるいは小論文テストの形式で評価する。		
1. 市場経済と価格機構	4	経済主体と価格機構、独占と寡占並びに市場機構の限界について理解し説明できる。						
2. 国民経済の構造	7	国民所得と国富、景気循環と経済成長、金融政策と財政政策について理解し説明できる。						
3. 国際経済	4	国際取引や国際経済体制と国際協調について理解し説明できる。						
III. 論述課題	上のうち適宜	与えられたテーマについて、偏見なく、他人に伝わるように、理由を示しながら論じられる。						
総合評価	授業項目I～IIから出題する定期筆記試験（80%）とIIIの論述課題（20%）で総合評価し、60%以上の得点で合格とする。提出期日に遅れた論述課題は0点とする。							
備考								
電子情報技術応用工学コースにおける学習・教育目標との関連								